

7-10

褥瘡を予防するために

利用者様に快適なオムツ内環境を

組織改革

生活向上

特別養護老人ホーム 中央本町杉の子園

介護職 酒井 純

介護課 課長 渡部 真也

東京都足立区中央本町 4 丁目 14 番 20 号

TEL 03-3886-0002

Chuuouhonnchou-suginokoen@s6.dion.ne.jp

FAX 03-3886-1600

URL

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

当施設は、足立区で 10 番目に造られた施設で環状 7 号線と国道 4 号線の交わる位置にある。事業所は 6 つあり、それぞれの事業所は足立区で幅広く活躍している。中でも特別養護老人ホームでは、第三者評価を実施し高い評価を受けている。

<取り組んだ課題>

- 褥瘡発生を防止するための体制整備を行い、褥瘡予防に努め、発生における苦痛の緩和と早期治療、及びケアの提供を適切に行う

<具体的な取り組み>

- 褥瘡予防委員会を月に 1 回開催
参加職種：施設長・介護課長・ケアマネージャー・看護士・相談員・介護職
- 褥瘡予防報告書の作成
(入居者様の体の観察という視点を職員間で共有し、早期予防を行う。
 - 1ヶ月ごとに報告書を集計する。
- リスクの高い方の問題点をあげ対策を考える。
(失禁や尿量の多い方・麻痺が原因で自発的な体位交換ができない方・加齢による知覚低下のある方・座位時のポジショニングが不適切)
- パーソナルシートの作成（利用者様の一日のスケジュール）
- 褥瘡治療について
- 新しい試みとしてベビーパウダーの使用。

<活動の成果と評価>

- 職員間の連携が強化された
- 褥瘡に対する職員の意識が強くなった
- 褥瘡への知識が高まった
- ベビーパウダーを使用し快適なオムツ内環境が作りだせるようになった
- 褥瘡の発生・再発を少しでも遅らせ、減少できている

<今後の課題>

- 経過観察を行い定期的に検討を行う
- 快適な施設生活を過ごしていただけるようにする
- 褥瘡予防に力を入れていく
- 褥瘡発生率 0 になるよう努力していく